

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	社会福祉法人栄光会からすたろうの学び家				公表日	令和8年 2 月 27 日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	<ul style="list-style-type: none"> ・個々に対して向き合えるスペースがしっかりとできています。(対面なしでしているところ〇) ・部屋をくぎり、落ち着けるスペースを作っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・改修工事を終え、国の設置基準を満たした空間で、日々療育を行っています。指導訓練室は1人あたり23.85㎡あり、国の設置基準以上を確保できています。(1人あたり2.47㎡以上が目安) 	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	<ul style="list-style-type: none"> ・寄り添って対応できる配慮ができています。 ・不足にならないようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国の基準に沿った職員配置を行っています。専門性をさらに高めるために、研修を交互に受けている状況です。 	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	<ul style="list-style-type: none"> ・ステップ代をたまに出し忘れるときがある。 ・段差をなくす等の工夫ができ、利用のないときはしっかりと片付けてきている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレ、キッチン、活動場所、ゆっくりする場所など子どもたちにわかるように提示しています。またスケジュールの提示や物の置き場所など視覚的に提示しています。 	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	<ul style="list-style-type: none"> ・環境整備もできている。活動内容に合ったスペースもできている。 ・子どもたちが自由に遊べるようコーナーを作っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の環境整備、週一回のおもちゃの消毒、毎日の清掃の徹底など、職員間で協力し、心地よく過ごせる環境づくりに努めています。 	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとりでごもれる部屋もあり、場所の工夫もできている。 ・なっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・改修工事も完了し、子どもの状態に応じてクールダウンできる場所の確保がなされています。 	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	<ul style="list-style-type: none"> ・朝礼、昼礼を通して確認ができています。問題点を話す時間もある。 ・なされていないわけではないが、振り返りが少ない気がする。 ・振り返りができていない。 ・子供が来所するまでの間に話をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援内容の振り返りは毎日行っています。非常勤への周知が足りていないこともあるため、朝礼日誌を活用し、スタッフ全員が周知できるようにしています。PDCAサイクルについてはまだ十分とはいえないため、創意工夫して改善していきます。 	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の保護者向け評価表結果によって、改善が必要なところは迅速に対応していきます。今後も回答者数が全保護者となるよう工夫していきます。 	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	<ul style="list-style-type: none"> ・意見交換しながら円滑にできるよう取り組んでいる。 ・機会はあってもなかなか意見が出なかつたり、言い出しにくい雰囲気がある。 ・朝礼、昼礼があり、意見をいえる場を設けることが出来ている。 ・気付きを出し合う雰囲気が職員間で整っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いつでもコミュニケーションが取れる職員関係を日々築いてきています。さらに業務上のことであれば、言いにくいことも伝えられるような雰囲気づくりも努めて行きます。 	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	1	<ul style="list-style-type: none"> ・3月中に理事会メンバーから外部評価を行ってもらう予定です。その後に意見を業務改善につなげていきます。 	
10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・研修も定期的に開催されていてよい。 ・委員を中心としてしっかり計画され、報告等も行われている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修に参加できるよう呼びかけを行い、交代で参加できるようにしています。また園内研修も年間計画に組み込まれており、職員の脂質向上に取り組んでいます。 	
11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	1	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて開示されているのではないでしょう。 ・作成者がスタッフ全員の目通しができるように責任をもって確認している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援プログラムに沿った支援内容を提供しています。事業所の理念をもとに更に5領域(健康・生活、運動・感覚、認知・行動、言語・コミュニケーション、人間関係・社会性)などの総合的な支援を行っています。 	
12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・本人のニーズや保護者のニーズを把握し、こどもの現在の成長に必要な支援計画を作成しています。 		

適切な支援の提供	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	回答無1	・その都度話し合いながら計画が作成されている。	・モニタリングを行い、現状と課題、支援の振り返りと、今後の計画について話し合っています。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		・計画書の見直しや支援方法についての話が常に行われている。	・モニタリングや個別支援計画（原案）に基づく会議の際に計画書の内容が検討され周知されています。またHUGアプリ内でいつでも閲覧できるようになっています。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	2	・意見を出し合い、適切に行われている。 ・ツールは使えていない。	・個々の行動観察を職員共有のフォーマットに記録し職員間でいつでも閲覧できるようにしています。また、必要に応じて随時確認できるようになっています。他、周知できるよう説明、確認を行っています。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		・細やかに内容も作成されており、それにそった個々の計画が作成できていると思います。	・いつでも閲覧できるようガイドラインを掲示しております。またガイドラインを踏まえ、お客様の発達特性に合わせた計画を作成しております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	1	・意見を聴きながら作成されている。 ・チームで協力はしているが、立案は責任者任せになっている。	・チームで協力し立案していく。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	1	・成長に合わせてプログラムの内容も工夫されている。 ・放デイは利用時間が短くなる子が多いため、製作や感触遊びなど時間を要しそうな活動が少ないかなと思う。 ・利用人数、利用時間を考慮しながら臨機応変に行っている。	・毎月療育プログラムを作成し利用時に対応した支援内容を設定しています。利用時間の短いお子さんへの活動の工夫など、今後の課題とし、より丁寧な配慮のある支援を職員間で共有して行きます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		・来年度に向けての個々での情報を整理し、支援に役立てたい。 ・個別活動もその個々に合わせた内容のものが今後できていけたらよい。 ・活動内容が偏らない様に作製し支援されていると思います。	・個別活動、集団活動を組み合わせ、個々に応じた活動計画を作成し、支援しています。活動内容については、毎回繰り返すべきことや、新しく取り組めるものを組み合わせた内容になっています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		・朝礼、昼礼などで確認、情報共有している。 ・事前報告を行い担当者がしっかりと進めていると思います。	・毎日朝礼、昼礼の際にミーティングを行い、活動のリーダーとなる担当者と打ち合わせを行っている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	回答無1	・「こんな感じだったが、やり方を少し変えようまくできていた」と報告を兼ねて振り返りがある。 ・記録の入力時に伝達したり、翌朝の朝礼で共有している。 ・できるように時間を確保したい。	・今後も支援終了後や翌朝の朝礼、昼礼時に支援の振り返りや意見交換を行い、連携を深める。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		・日日の支援について、記録の確認や振り返りを行っている。	
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7			定期的モニタリングを行い、見直す部分、継続していく部部について見直しを行っています。	
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	1	・わからない。	・「自立支援と日常生活の充実のための活動」「創作活動」「地域交流の機会の提供」「余暇の提供」を服す組み合わせ支援を行っています。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7			・こどもの主体性を尊重し、活動や役割の自己選択の機会を与えています。	

関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	1		・児童発達支援管理責任者はもとより、業務従事10年以上の職員が参画し、子どもの状況、今後の療育方向性について参画しています。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1	・情報交換会等を通して、連携もできていると思います。 ・子どもの通う学校での迎えにおいて、学校関係者に声掛けて情報の把握に努めている。	・今後も必要に応じて関係機関との連携を図る。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		・定期的に継続された情報交換会ができればよかった ・常に連携を取りながら、訪問や電話での連携を行っていると思います。	・小学校と情報交換会を行っています。（昨年度は12月）そのほかでも、年間行事や予定、下校の時刻の確認など日常的に行われています。中学校とは利用児がいないこともありますが、第三の居場所の方で不登校児を預かっていることもあり、情報共有できています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	1	・情報交換会等を行い、共有ができています。	・情報交換会を行い、情報共有と相互理解に努めています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	2	・まだしたことがない。	・卒業児童が障害福祉サービス事業所へ移行する事例がなく、今後に備え情報収集を行ったり相談支援員と情報共有し対応していきたいです。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	2回答無1	・来年度は交流の機会があればよい。 ・活動を一緒に行うことで交流できていると思います。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	2回答無1	・来年度は交流の機会があればよい。 ・活動を一緒に行うことで交流できていると思います。	・子ども第三の居場所事業も同じ建物内で行っていることから、日々他事業所の子どもたちとの交流できていたり、イベントも合同で行うこともあります。またこども第三の居場所のイベントにリモートで県外の子どもたちとも交流することもあり、他の地域の子どもたちとも交流する機会があります。今後も事業所内だけにとどまらず、いろいろな地域のイベントに参加できる場を提供していきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	3	・わからない。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		・常に保護者と向き合って対応している。 ・保護者との連携を密にし、共通理解を図っている。	・HUGシステムを使い、子どもの活動の様子など写真を添え、その都度お伝えしています。また事前にご連絡いただけますと、お子様の様子など見学することができます。お気軽にご連絡ください。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	2	・モニタリング以外にも月いちなど療育内容の様子を保護者へ見てもらう機会があったらいいと思う。 ・計画の中に取り入れて参加や情報も提供し、意見交換等もやっている。	・ペアトレなどは今後、勉強会、研修会を重ね家族支援できるようにしていきます。また家族の参加できる研修会など、案内を検討していきます。
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		・対面やHUG等を利輪して常に説明を繰り返している。	・運営規定、支援プログラムについては2月末に公開予定です。利用者負担額については契約時に説明を行っています。またHUG上で確認できるシステムになっています。	
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		・面接や利用時を踏まえて意見交換や以降の意見を話し合う機会がある。	・引き続き、子どもや保護者の最善の利益に優先を考量した観点を踏まえて、確認を取りながらサービス提供を行います。	

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7		・サイン等をいただいている。	・サービス計画の説明を行い、同意を得てサインもいただいています。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		・常に行える環境を整えてあり、対応に応じている。	・お子様や保護者様に対して、迅速かつ適切な対応ができるよう、24時間連絡できるLINE公式メッセージやHUGアプリでの個別メッセージ等整備されています。今後もご活用ください。 また保護者向け相談として、「にじいろのたね」もごございます。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	3	・開催されていないが現状。	・森のまつり、親子キャンプなど保護者の方が参加、交流できる場を設けておりますが、なかなか認知されていないのが現状かと思えます。広く呼びかけ、皆様にご参加いただけるようにしていきます。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		・マニュアルが作られている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7		・インスタやお便りの発行を行い、保護者や関わりのある所へ発信をしている。	・今後もわかりやすい活用方法を検討していきます。 ・現在もInstagramに記事を投稿しています。いつも「いいね！」をしてくださりありがとうございます。励みになります。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		・鍵をするなどして適切に保管している。 ・十分な配慮と個人情報厳守に努めている。	・引き続き、SNSへの登校の承諾アンケートを行い、個人情報の取り扱いには十分注意をはらっています。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		・個々に合わせて配慮している。	・専門用語を避け、連絡帳や電話、面談、わかりやすい日本語など配慮をしていきます。メールやICTツールの活用も保護者に合わせて活用できるようにします。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7		・森のまつり等、地域の方々を招待して盛大に行われている。 ・行事への案内を配布す等、参加の呼びかけをしている。 ・森のまつりが行われ、地域の方も来場されていた。	・森のまつりや夏休み自由研究講座など地域住民の方を巻き込んで、イベントを開催しています。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		・担当を中心に会議や訓練もしっかり行っている。 ・防犯マニュアルがあるのか知らなかった。 ・家族への周知はできていない。 ・それぞれの情報においても情報の共有と対策について周知徹底している。	・各種マニュアルはからすたろうの玄関にて掲示、又はファイルにいつでも閲覧できるように設置してあります。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		・計画も作成してあり、見直しや意見交換も行っている。	・避難訓練、火災訓練など年間行事に組み込んでくれんを行っています。また業務継続計画（BCP）に基づき、研修等も計画、実施されています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	1	・研修等で共有している。 ・服薬について把握できるよう、今後カードを作成中。 ・面接やアンケートを行って全員が目につく所に設置してある。	・緊急時に対応できるようてんかん発作等のマニュアルの周知徹底を図ります。 ・服薬カードをもとに、保護者から預かった薬を確実に服用させることを徹底します。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	1	・食物アレルギーの把握、対応など検討が必要。 ・アレルギーアンケートを作成し、登録時に提出していただきいつでも見られる場所にある。 ・保護者からの情報をもとに管理している。医師の指示書はあるのかわからない。	・食物アレルギーのある子どもについて全体周知を徹底します。

50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			・安全対策（BCP）の周知を図る研修や、安全管理に関する研修等を行い、子どもたちが安全に過ごせるようにしています。
51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1回答無1	・送迎時において常に保護者と言葉かけをしながら進めていく。	・からすたろうの学び家の掲示板に提示してあります。またいつでもご覧いただけるようファイルも設置してあります。
52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	回答無1	・事例が起きればその都度事例を話し、再発防止策を出し合い、共有している。	・ヒヤリハットの周知のために、ヒヤリハット様式を作りました。重大な事故に発展しないよう日々スタッフ間で共有し努めてまいります。
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	回答無1		・虐待防止、ロールプレイの研修を年間計画に組み込み、虐待防止に取り組んでいます。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	回答無1		・身体拘束については、やむを得ず拘束が必要になった場合は、保護者への説明、同意を得ます。身体拘束については研修等を通して、スタッフ間でも周知できています。